

3PL事業(国内)

お客様のサプライチェーンのさまざまなステージにおける物流業務やその周辺業務について、包括的なアウトソーシングサービスと、それを支える卓越したIT・技術力により、サービス水準と物流効率の向上を可能にします。3PLの先駆者ならではの豊富なノウハウとコンサルティング力、各種インフラを駆使し、最適な物流ソリューションを提供するとともに、お客様やパートナーと、最新テクノロジーを活用した次世代物流技術の協創・実装に挑み続け、常に進化の歩みをリードしています。

主なサービス内容

調達物流：

仕入れ品の引き取りから検収・保管・供給まで、一括で対応します。ベンダー在庫管理方式(VMI)や部品の組立・塗装、生産ライン向けの配膳など、高付加価値サービスを提供しています。

生産物流：

資材・製品の管理・包装・発送など、製造工程におけるさまざまな物流業務を請け負います。包装のプロによる、製品特性・物流条件に応じた最適な包装ソリューションも提供しています。

販売物流：

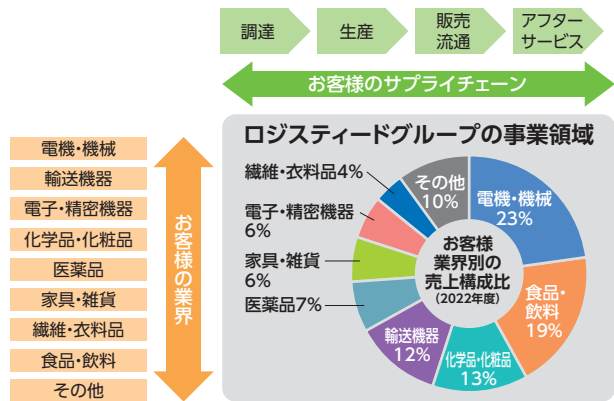
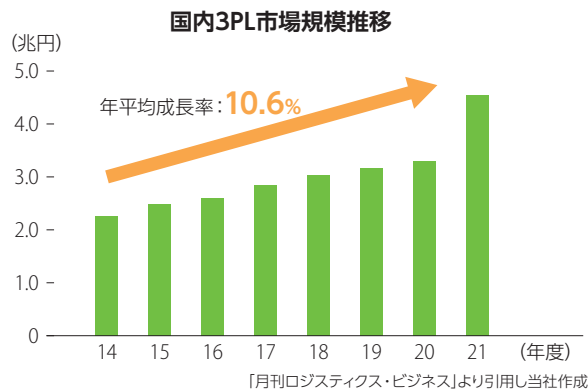
拠点配置、在庫水準の見直しなど、サプライチェーンの設計時から包括的に支援します。最新技術を駆使した高品質・高効率な物流設計、運営を行い、お客様の受注・販売拡大を支えています。

ソリューション：

情報通信機器向けに物流とCE^{※1}を融合したサービスや、危険物・化学品向けの共同物流サービスなど、付加価値の高いソリューションを多数提供しています。

※1 CE: Customer Engineerの略。情報通信機器の設定・動作確認などの作業を行う

当社グループは、成長を続ける国内3PL市場において、1980年代からサービスを提供する「3PLの先駆者」であり、豊富な実績に基づく提案力と、お客様を熟知した運営力を活かし、幅広い業種・業界のお客様の企業物流業務を包括的に受託しています。少子高齢化を背景とした労働力不足、業界の垣根を超えた競争激化等の直面する経営環境の変化に対して、IoT・AI(人工知能)・ロボティクス、DX(デジタル・トランスフォーメーション)によるイノベーションでお客様の課題解決を支援し、持続可能な社会の実現に取り組めます。



2022年度の実績 2022年度トピックス

■ 業績(国内)

売上収益：

3,691億円
(前年度比 +37億円)

営業利益：

214.8億円
(前年度比 ▲6.5億円)

- 2022年4月：** 令和3年度 エコシップ・モーダルシフト優良事業者表彰「海運モーダルシフト大賞」を受賞
- 2022年6月：** 経済産業省の「デジタルトランスフォーメーション銘柄2022(DX銘柄2022)」に選定
- 2022年6月：** 第23回物流環境大賞「先進技術賞」を受賞
- 2022年7月～8月：** 「第28回日本MH大賞(優秀賞)」 「2022年度ロジスティクス大賞(準大賞)」をダブル受賞
- 2022年8月：** 量子コンピュータによる超高速配車シミュレーションを実用化
- 2022年9月：** 2022日本パッケージングコンテスト「ロジスティクス賞」「電気・機器包装部門賞」をダブル受賞
- 2022年9月：** SSCVが提供する「法令準拠輸送計画作成システム、方法及びプログラム」を特許登録
- 2022年11月：** 「令和4年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞(新規開拓部門賞)」を受賞
- 2022年12月：** 令和4年度物流パートナーシップ優良事業者表彰「グリーン物流パートナーシップ会議特別賞」を受賞

担当役員メッセージ

当社グループは、中長期的にめざす姿である「LOGISTEED2030」に向けて、3PL事業の強みであるDX・LT・現場力をさらに高め、経済価値・社会価値・環境価値の創出を強化しています。特に、VMIサービスやVASの提供拡大による付加価値サービス充実と倉庫・輸送におけるDXの取り組みを強化し、お客様のサプライチェーン課題の解決と、2024年問題への対応や脱炭素社会の実現をより一層加速していきます。

西川 和宏
常務執行役員
東日本統括本部長
東日本統括本部
東日本営業本部長



中期経営計画LOGISTEED2024の重点取り組み事例

付加価値サービス(VAS)の提供拡大

当社グループは、「新たな付加価値による事業領域の拡張」を中期経営計画の重点施策に掲げ、領域拡張を通じた事業価値のさらなる向上に取り組んでいます。日立グループや輸送機器メーカーなど、製造業のお客様向けに長年培ってきた工場物流の経験とノウハウを活かし、製造と物流の境界領域における価値創造の強化に注力しています。

今後は、新たな付加価値による事業領域の拡張として、物流オペレーションとファイナンスサービスを組み合わせたVMIサービスやSCDOSと連携したデータ利活用サービスの提供により、お客様のサプライチェーン戦略全般におけるパートナーとして、物流を超えた価値提供をさらに強化していきます。

製造業のお客様向けの付加価値サービス例

調達物流・VMI	製造業務サポート	包装ソリューション
原材料／部品の発注代行、VMI倉庫運営、資材提案、集荷・ミルクラン、JIT納品 ^{※2}	検査、機器メンテナンス、組立、荷姿変換、塗装、輸送時製品分解、修理、工程管理	専用包装材料開発、包装試験、包装用資材調達管理

※2 JIT納品:ジャストインタイム納品の略。必要な時に、必要なものを、必要な量だけ輸送する納品方法

倉庫DXによる「安全・品質・生産性の追求」

当社グループは、「スマートロジスティクスの進化」を中期経営計画の重点施策に掲げ、倉庫事業の強靱化に向けて、自動化設備のさらなる導入を図るとともに、安全・品質・生産性の向上と見える化に取り組んでいます。例えば、RCS(Resource Control System)により自動化設備とWMS(倉庫管理システム)^{※3}のデータを連携させ、デジタルツインによる全体最適化を推進しているほか、RCSによる作業工程標準化と生産性の可視化により、最適人員配置へと機能拡張を図っていきます。現場運営のフィジカルとデジタルの融合により、デジタルツインを構築していきます。

※3 Warehouse Management System

輸送DXによる輸送力強化と全体効率化の推進

当社グループは、お客様の輸送ニーズの実現と「2024年問題」への対応を両立すべく、輸送力の強化とSSCVソリューション提供による輸送事業の強靱化を中期経営計画の重点施策に掲げており、その一例として、安全運行管理ソリューション「SSCV-Safety」に、ドライバーの労務管理を支援する「デジタル労務管理」機能を追加しました。労働時間管理・安全管理システム「JICONAX」^{※4}と連携し、デジタコから走行実績を取得することで労働時間を正確に自動計算し、改善基準告示^{※5}の基準値への超過アラートを一覧表示で可視化することができます。

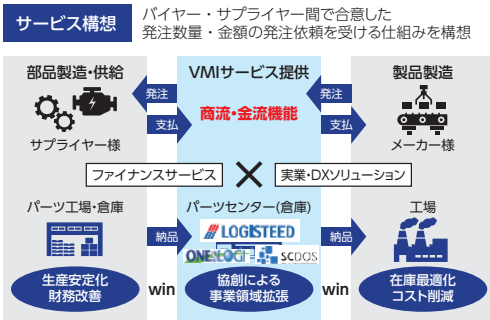
また、当社は「ホワイト物流」推進運動に賛同し、WMS(倉庫管理システム)等と連動した独自の「トラックバス予約管理システム」^{※6}の導入を進めており、今後はさらに導入拠点を拡大していきます。輸送事業の強靱化により、環境価値・社会価値の創出を強化する取り組みを進めていきます。

※4 ㈱フルバックが提供する、運送/旅客事業者向け労働時間管理・安全管理システム

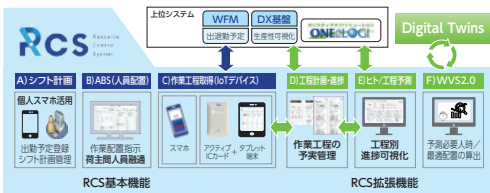
※5 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(厚生労働大臣告示)

※6 トラックバス予約管理システム:当社物流センターでのトラックへの積み下ろし作業について、予め作業時刻の予約とバスの割り当てを行うことで、従来発生していた無駄な荷待ち時間や渋滞の削減が可能となり、ドライバーの労働環境向上やトラックの有効活用、CO₂排出量の削減にもつながります。

■ 商流・金流を組み込んだVMIサービス構築



■ RCS拡張による最適人員配置



■ 安全運行管理ソリューション SSCV-Safetyに労務管理機能を追加



■ トラックバス予約管理システム 導入効果

